

目 標	式と証明、高次方程式、図形と方程式、三角関数、指数・対数関数、微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養う。
--------	---

学期	月	単元・(時数)	学習内容	指導上の重点
第1学期	4	三角関数 (13)	三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式	一般角、弧度法、三角関数のグラフについて理解させる。単位円・グラフを利用した三角関数の方程式・不等式の解法を理解させる。
	5	三角関数 (13)	加法定理 加法定理の応用	加法定理、2倍角、半角、三角関数の合成について理解させる。
	6	式と証明 (10)	3次式の展開・因数分解 二項定理 整式の割り算 分数式の計算 恒等式	展開・因数分解、二項定理、整式の除法について計算の習熟を図る。
	7	複素数と方程式 (13)	複素数とその計算 解と係数の関係 高次方程式 剰余の定理	虚数、複素数を理解させ、2次方程式について理解を深める。高次方程式の解法を理解させる。
第2学期	9	図形と方程式 (13)	2直線の関係 円の方程式 円と直線 2つの円 軌跡と方程式 不等式の表す領域	直線が1次方程式で表されること、2直線の平行・垂直について理解させる。円の方程式、直線と円の位置関係について理解させ、方程式の表す図形についての習熟を図る。平面上の点の軌跡を理解させ、不等式の解を点の集合としてとらえさせる。
	10	指数関数 (13)	指数の拡張 指数関数	指数の拡張を理解させ、指数計算・累乗根の計算の習熟を図る。
	11	対数関数 (13)	対数とその性質 対数関数 常用対数 微分係数 導関数	対数の定義、計算法則を理解させ、対数方程式・不等式の計算に習熟させる。平均変化率、微分係数について理解させる。
	12	導関数 (13)	導関数とその計算 接線の方程式	導関数の計算に習熟させ、接線の方程式を求められるようにする。
第3学期	1	関数の値の変化 (13)	関数の増減と極大・極小 関数の増減・グラフの応用	導関数を利用して関数の増減が調べられることを理解させ、極値、グラフの概形を捉えられるようにする。
	2	積分法 (13)	不定積分 定積分	不定積分の定義を理解させ、不定積分・定積分の計算に習熟させる。
	3	積分法 (13)	定積分と図形の面積	直線や曲線で囲まれた図形の面積を定積分で表すことができるようにする。
評価の観点		関心、意欲、態度、知識・理解		
評価の方法		定期考査、小テスト、教科書傍用問題集・プリント等課題提出状況		